2020年5月23日

日本地震工学会論文集編集委員会

# 執筆要領（英文論文テンプレート）改定のご案内と論文書式の確認のお願い

2020年4月に執筆要領（英文論文テンプレート）の改定を行いました．論文投稿の際はご確認ください．また，印刷用原稿を作成する際にも下記の項目を改めてチェック願います．

英語ネイティブスピーカーによる英文校正を実施．

## 著者欄

Member of JAEE → Member　なお，Non-Memberは記載不要．

E-mail：和文論文と違い，メールアドレスのみ記載．

Key Words → Keywords

Keywordsは各キーワードの先頭と固有名詞の語頭を大文字とする．

Keywordsが2行にわたる場合，コロン＋スペースの後ろで語頭の位置を揃える．

## 本文

11 ptのTimes New Romanフォントを使用（数式はCambria Mathなどのフォントも許容）．

全角フォントは半角フォントに置換．例：角度の単位° → °（海外の研究者が読むときに文字化けする可能性があるので）．

章見出し：章番号＋ピリオド＋スペース＋見出し．前に2行空行を挿入．

本文中は単位の前にスペースを挿入（%と°はスペースの挿入なしも許容）．

SI単位系に従い，sec → s

Galは初出の箇所にcm/s2と同じ意味であることを説明．

カンマの後にスペースを挿入．

数式の =, ≠, ≈, ≤, ≥, +, −, ±, × などの記号は前後にスペースを挿入．

ハイフン“-”，マイナス記号“−”，emダッシュ“—” ，enダッシュ“–”を使い分ける． Gutenberg–Richter’s law, stress–strain curve, pp. 1–3はいずれもenダッシュ．

上付き文字の引用番号の書き方：　1,2) → 1), 2)　　1～3) → 1)–3)

文末のピリオドの後の引用番号はピリオドの前に移動．

行頭にはピリオドを付けて省略した語を書かない．例：Figure 1 shows ...

図はFig. 1, Figs. 1–3のように引用．ただし，行頭では省略しない．

式はEq. (1), Eqs. (1)–(3)のように引用．ただし，行頭では省略しない．

## 参考文献

著者名は姓＋カンマ＋イニシャル．例：Priestley, M. J. N.

参考文献のページ範囲はハイフンではなくenダッシュ“–”を使用．

Vol., No., pp.の後ろにスペースを挿入．例：Vol. 1, No. 2, pp. 3–5

URLにハイパーリンクは付けない．閲覧日を記載．例：(last accessed on May 23, 2020)

書誌名は省略せず，キャピタライズ，イタリック体．

andの前にカンマは不要．

以上